

日本で一番売れている

国語辞典の決定版

九年ぶりの全面改訂！

言葉の変化をとらえた

最新改訂版！

# 新明解

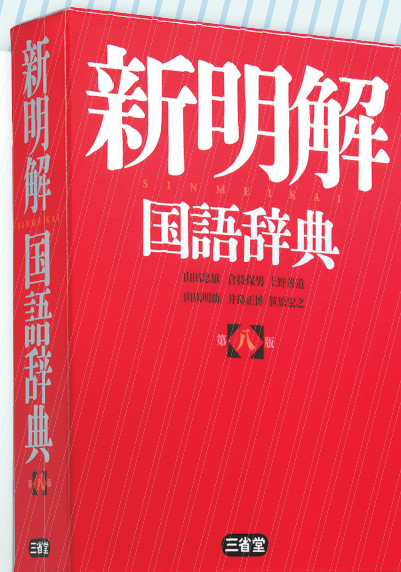
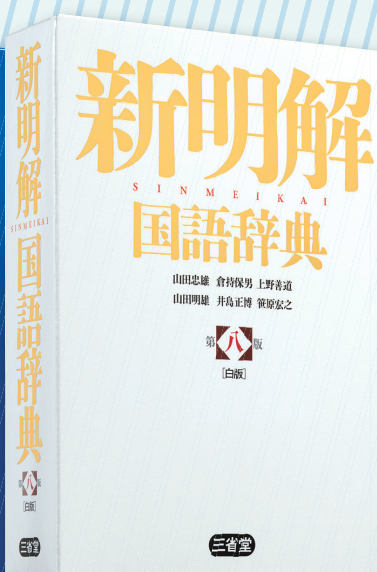
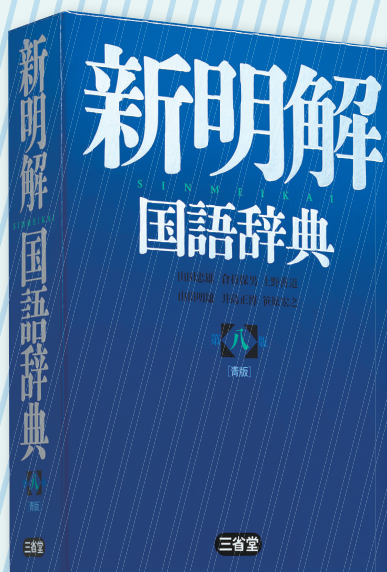
# 国語辞典

第八版

山田忠雄・倉持保男・上野善道・山田明雄・井島正博・笹原宏之「編」

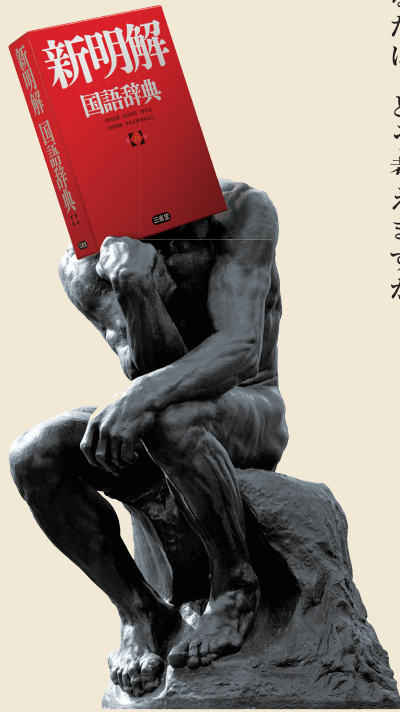
11月19日  
全国  
一斉発売

(一部地域を除く)



三省堂

あなたは、どう考えますか。



# 考える 辞書

## 「考える辞書」宣言

国語辞典の語釈は、実は、辞書によってずいぶん違いがある。どのような国語辞典が、単なる言葉の意味や使い方を知るだけにとどまらず、自分の考えを展開する起点となり、深化させる道具となる辞書であるのか。それは、日常の言語生活において使われる、言葉の使用例を徹底して調べ尽くした上の、深い思索の結果としての語釈をほどこした辞書である。言い換えれば、「考えている辞書」が「考える辞書」の前提なのである。

辞書は、引き写しの結果ではなく、用例蒐集と思索の産物でなければならぬ。

——初版序文より

1972（昭和47）年の初版の「序」から約半世紀の間、『新明解国語辞典』は、あるべき辞書の姿を追い求め、日本語を見つめ続けてきた。「生活は言語によって支えられ、われわれの思考と内省は言語によって深まる」——第四版序文より」とあるように、より正確かつ厳密に言葉をとらえる方針を堅持してゆくためには、時代とともに変容する社会の変化にもしっかりと対応してゆかねばならない。

今回の改訂も、まさにそのように行われた。





# アクセント辞典を上回る 九万を超えるアクセント表示

実態に即した定評ある通用アクセント表示を、新たなルールで全面的に見直しました。

## ◀「新明解国語辞典 第七版」

けむ・い①「煙い」(形) 煙が顔にかかって、目をあけていたり息をしたりすることが苦痛に感じられる様子だ。口頭語では「けむたい」とも。②「ある」③「がある」

けむたい①「煙たい」(形) ①「けむい」の口頭語的表現。②相手に威圧感を覚えるなどして、安易に近づくことが出来ないと感じる様子だ。「存在」③「ある」④「ある」

③「ある」④「ある」

## ◀「新明解国語辞典 第八版」

けむ・い①「煙い」(形) 煙が顔にかかって、目をあけていたり息をしたりすることが苦痛に感じられる様子だ。口頭語では「けむたい」とも。②「ある」③「がある」

けむたい①「煙たい」(形) ①「けむい」の口頭語的表現。②相手に威圧感を覚えるなどして、安易に近づくことが出来ないと感じる様子だ。「存在」③「ある」④「ある」

③「ある」④「ある」



# 日本語をより深く理解するための 「文法」欄がさらに充実

のではないか(格助詞「の」+助動詞「だ」の連用形+副助詞「は」+形容詞「ない」+終助詞「か」)個人的な臆測として予想されることを述べる意を表わす。「もうそろそろ到着する頃な―さすがにあいも悪いと思っっている」

文法 (1)「のではないか」「ではないか」「口頭語では「じゃないか」とも(あるいは「ないか」「な」とも)「否定疑問文」と呼ばれるが、後者は事実を示して聞き手に注意を喚起したり賞賛したりまた叱責したりする場合に用いられる。例、「この絵は実によく描けているではないか/危ないじゃないか、注意しろ」(2)「丁寧な表現で」「しよう」も推量を表わすが、こちらは一般的な予想にも用いられる。例(天気予報で)「明日は一日中雨が降るでしょう」(3)口頭語では「んじやないか」「んじやない」。

最新の文法研究に基づき、さらに詳しくわかりやすく解説しました。



# 漢字の書き分けがわかる「表記」欄 貴重な歴史的情報も含めて全面的に見直しました。

クラブ(club) ●①(親睦・趣味・研究など)共通の目的を持った人びとの組織する団体。また、その集会所。「活動④」②狭義では、学校の教科外教育活動の一つを指す。③ゴルフ場などに付設される、会合や会食などのために設けられた施設。「ハウス」④⑤ナイトクラブの略。

④ゴルフのボールを打つ用具。⑤(トランプで)黒いクローバーの葉のしるし(で点数を表わす)。⑥⑦音楽を流し、踊るのである(若者向け)飲食店。表記⑧を(倶楽部と書くのは、字義を考慮した明治期からの音訳。「音楽部」とも書いた。【かぞえ方】④は一本

「運用」欄で、言葉の効果的に使うための情報を具体的に提示しました。

たつしや①「達者」②「からだの各部分に異状が無く、元気でいること(様子)。「一(が)で」何よりだ。③「からだのある部分の働きがすくなく、(いて衰えなし)様子だ。」「口の―な(「口」がよく回る。弁のよく立つ)男」④ある方面の能力がすくなく、(いて衰えなし)様子だ。⑤心臓が強く、抜けの無い様子だ。「あいつはなかなか―な奴だ」

運用 ●「どうぞお達者で」などの形で、高齢者に対する別れの挨拶の言葉として用いられることがある。



# 学習辞典として 高い評価を得ている 工夫の数々

「かぞえ方」欄を拡充し、巻末付録には「数字の読み方」を新設しました。

「貫」<sup>ツ</sup> ●最後までやり通す。「貫通・貫徹・首尾一貫」②尺貫法における質量の基本単位。三・七五キログラムに等しい。(千分の一貫を一「匁」と称する)③昔の通貨の単位。一千元。〔江戸時代では九百六十貫〕④「貫文」⑤「し」のぎりをかぞえる語。【かぞえ方】三貫・何貫は⑤の意では「さん・さん」の意では「さん・さん」

※はなれる③「離れる」(自下) ●「なにカラ」(なにト) △結んで縛ってあったりくっついていたりとしてあったりする物がばらばらになる。①「なにカラ」(なにト)「なにカラ」その物との間に、空間が置かれる。「五キロ離れた(「隔た」)所」②「なにカラ」(なにト)「なにカラ」(なにト)「なにカラ」あるものとの(から)関係が解かれる。「頭を離れぬ考え職を―夫に離れて(「(a)夫と別居して、(b)夫と離縁して暮らす」親の手を「(c)子供が大きくなって、育児に手がからなくなる。」「(d)子供が、独立する」(e)「なにカラ」(なにト)「なにカラ」何かと無縁であるに何かが行なわれる。「これまでのいきさつ採算・党利党略を―生活実感と―支持が―(「無くなる」)「(「離れ」)」

運用 結婚の祝宴などに際しては避けるべき言葉とされる。

# 深い思索の産物としての

# シヤープな語釈

現代日本語の精緻な意味分析から成り、言い換えや単なる用字の説明にとどまらない、語の本質に迫る語釈。これらに向き合うことが「言葉によって考えを深める」ための第一歩となります。

きめうち④〔決め打ち〕「する(自他サ) あらかじめ△段取り(手順・ねらい)を決めて、その通りに△進める(実行すること) 馬券を―で買う〳〵ねらい球を―する〳〵の報道〳〵―替  
④〔「手本となる棋譜の途中の局面から打つ替」〕

じあたま②「(地頭) ①かつらなどをかぶらない時の頭。②詰込みや暗記 ③辺倒の教育によって身につけられるものではない、広範な思考力・応用力・洞察力・発想力などの、その人自身に備わる知力。④―がいい〳〵を鍛える」〔「単なる要領の良さを言う場合もある」〕

ヘイトスピーチ⑤〔Hate speech〕特定の人種・民族・性・思想信条の人びとに向けてなされる、憎悪に基づく言論。デマ・捏造ヅツ・誇張に基づいた偏見・差別・憎悪をおおり、社会の分断をはかる卑劣きわる言動や活動。

ほぼほぼ①④〔略々々々・粗々々々〕〔副〕問題となる事柄に関して、完璧だというわけにはいかないが、細かい点を除けばその人なりに全体にわたって妥当だと判断される様子。「工事は―予定通りに進んでいる〳〵不正融資のからくりが―明るみに出された」

どんな語と結びつき、どんな場面で使われるのかを示し、時に巧まざるユーモアをかもし出すほどに生き生きとした用例。ニュアンスを理解し、また文章作成や表現の工夫の際にも役立ちます。

\*\*うれしい③〔嬉しい〕〔形〕自分の欲求が満足されたと感じて、その状態を積極的を受け入れようとする気持だ。「あの人が会えて嬉しかったあしたは休みだ、―な四月から自分も大学生かと思うと、何となく―気持になる〳〵ね、君のその一言を待っていたよ―悲鳴」↑悲しい 〔派〕さ②  
③ ―げ④ ―がる④

そんたく①④〔忖度〕「する(他サ)」「忖」も「度」もはかる意自分なりに考えて、他人の気持をおしはかること。「相手の立場や気持を―する」〔「近年、特に立場が上の人の意向を推測し、盲目的にそれに沿うように行動することの意で用いられることがある。例、「政治家の意向を―し、情報」を隠蔽する」〕

\*どが②〔尖る〕〔自五〕①先が鋭く細くなる。「先のとがった棒」②感情がたかぶる。「神経が―(「過敏になる」)あいつはこのごすべ―(「a不機嫌になる」)③怒る」声が一〳〵人に突っかかるような調子になる」④他人に合わせた気がねしたりすることなく、自分を特別の存在と自負して、思うがままに突き進む「若い頃は―いぶん失っていたものだ」失った才能を育む教育が必要だ」〔↓失り③〕

わけがない〔形式名詞〕わけ + 格助詞「が」 + 形容詞「ない」ある出来事が成立することを強く打ち消すことを表わす。「あのけちの部長がごちそうしてくる―」〔文法〕(1)活用語の連体形に接続する。(2)本来は、ある出来事が生じる原因・理由が存在しない、(2)この表現であったものが、原因・理由がないのであるから、その結果も当然成立しない、と強く打ち消す働きを持つようになったと考えられる。また、「はずがない」もほぼ同義に用いられる。

# 実感あふれる 豊富な用例

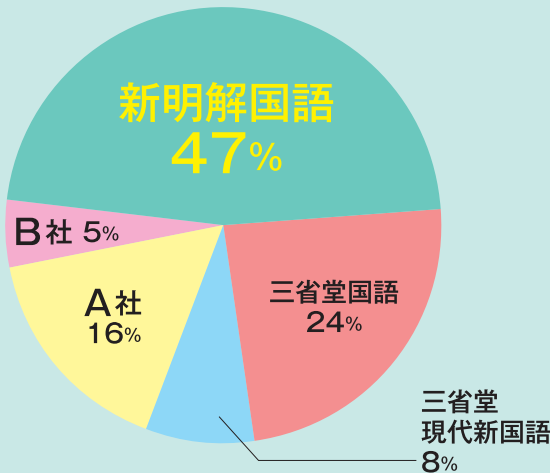
刊行以来、累計2,200万部!

# 日本で一番売れている国語辞典!

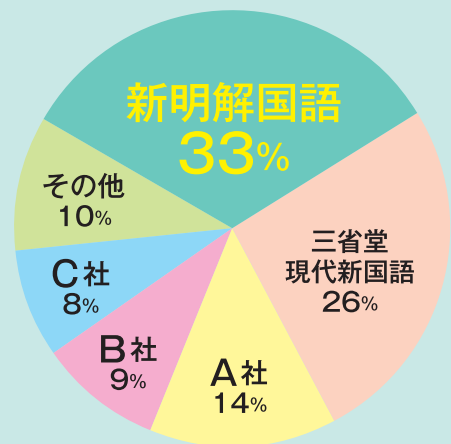
(明解国語辞典刊行から新明解国語辞典第七版までの累計、三省堂調べ)

小型国語辞典  
上位10点の中で  
圧倒的なトップシェア

高校の採用／推薦でも  
常にトップを独走



※当社調べ:2019年3・4・5月の実売調査による。  
「新明解国語」は普通版／特装版／小型版の合計。



※当社調べ:2019年新学期の採用／単独推薦校集計による。

## 同じ内容の「普通版(赤箱)」「白版」「青版」を同時刊行!

1972年に誕生した『新明解国語辞典』。初版では赤版・白版・青版の三色が発売されました。この度、初版由来のカラフルなデザインが、装いを新たに登場します。



●普通版(赤)	定価(本体3,100円+税)	B6判	1,792頁	2色刷	978-4-385-13078-1
●白版	定価(本体3,100円+税)	B6判	1,792頁	2色刷	978-4-385-13079-8
●青版	定価(本体3,100円+税)	B6判	1,792頁	2色刷	978-4-385-13081-1
●小型版	定価(本体2,900円+税)	A6変型判	1,792頁	2色刷	978-4-385-13080-4
●革装	定価(本体5,500円+税)	B6判	1,792頁	2色刷	978-4-385-13119-1 ※2020年12月上旬発売予定

<https://www.sanseido.co.jp/>

# 三省堂

◎本社  
◎大阪支社  
◎九州支社

〒101-8371  
〒530-0002  
〒810-0012

東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎ 03-3230-9411(編集)・9412(営業)  
大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎ 06-6341-2177  
福岡市中央区白金1-3-1 ☎ 092-531-1531・1532